

中心市街地活性化 調査特別委員会

八月三十一日開催

エスプラッツについて

〔説明〕一階の商業フロアが全面オープンした八月下旬の施設全体の一日平均の来場者数は約四千四百人。一階の利用状況は圧倒的に女性が多く、また、五十代以上は七割を占めた。

〔質問〕オープン初日等を含む平均では通常の状態がわからない。一日ごとの来

場者数は。

〔答弁〕来場者数はテナントから月締めで報告があるので、詳細な報告はもうしばらくお待ち願いたい。

〔質問〕高齢者の利用が多いことは、これからまちづくりの議論で無視できない。中心商店街の方向性は。

〔答弁〕高齢者の利用が多いことを念頭にまちづくりを考えなければならぬが、中心市街地には三、四十代の方も多く住んでいることも事実である。アンケートの結果を踏まえ考えたい。

〔説明〕二階の医療・健康ゾーン三カ所のうち、一カ所は精神・神経科の医療

機関に決定。残り二カ所は現在交渉中であるが、うち一カ所は前向きに検討して

いただいている。

〔質問〕医療機関について、特別委員会ではエスプラッツにふさわしいかなど議論できぬままに決定の報告を受けた。現在



改装なったエスプラッツ

交渉中の医療機関の名称や診療科目は公表できないのか。できないなら市としてどのような考えで交渉を進めているのか。

〔答弁〕議会に相談をしながら進められなかったことは反省しているが、現時点ではまだ公表できる段階ではない。現在、二階のコンセプトに合致した施設と交渉しており、交渉相手とも協議して、早めに情報提供できるようしたい。

今後の中心市街地活性化 の取り組みについて

〔説明〕エスプラッツ一階の全面オープンで、中心市街地活性化策が一つの区切りを迎えたと考えている。

しかし、まちなかにはアーケード撤去、窓乃梅跡地、白山・中央本町地区との連携等、様々な課題がある。今後、県、TMO等と一緒に事業展開を図るとともに、人を集める工夫をやっていく必要がある。

市立病院等 調査特別委員会

八月三十一日開催

旧共立病院跡地の建物等の 処分の方針について

〔説明〕六月十五日から七月十三日まで、旧共立病院の建物等の、売却先の民間公募を行ったが、応募はなかった。この結果を踏まえ、建物自体の活用は断念し、

解体に移行することが妥当

との考えにいたった。しかし土地の約八十五％を民有地が占めており、病院の開設以来約六十年間土地を借りている経緯から、病院側の一方的な都合による借地の返還は難しい。よって今後はまず地権者と共同で不動産業者に仲介・あっせんを依頼して、建物の解体と更地整備を引き渡し条件と

は。

特別委員会

した土地の売却を模索する。それで売却ができなかった場合には、民有地の買収を市に依頼せざるを得ないと考える。

〔質問〕地権者に借地を返すのが難しいと分かっているのなら、賃借料の負担もあるわけだから、早めに土地を買収した方がいいのでは。

〔答弁〕確かに年間約百二十五万円の賃借料を支払っているもので、早めに対応することでコスト縮減になる

わけだが、財政事情等を踏まえれば、できれば民間で買収してほしいとの考えもあるもので、更地での売却の模索を提案している。

〔質問〕この問題について病院の中だけで検討するの

はもう厳しいと感じるので、跡地を今後どのように活用するのか、未利用地の活用や、総合計画といった視点から、佐賀市の様々な部門で検討することが必要だと思ふが。

〔答弁〕この跡地は病院の財産であるが、基本的には行政の医療政策の中で生じた問題なので、病院と市が一体となって検討を進めて

いく必要がある。これ以上問題の先延ばしをしないよう市との協議を詰めていきたい。

〔意見〕早く市役所内で検討するテーブルを作ってもらって、時間を短縮する方向で取り組んでもらいたい。早急に最終的な結論を出すのは難しいと思うが、今回の特別委員会までにある程度の方向性を示して欲しい。